

結 果 の 概 要

I 人口総数

1 人口総数の状況

平成26年1月1日現在における東京都の住民基本台帳による人口について、日本人と外国人を合わせた人口総数は13,202,041人で、前年に比べ71,279人(0.54%)の増加となっている。そのうち日本人は12,807,631人で、前年に比べ67,543人(0.53%)増加し、外国人は394,410人で、前年に比べ3,736人(0.96%)増加している。

人口総数を男女別にみると、男性 6,520,891 人、女性 6,681,150 人となっている。前年に比べ男性は 32,301 人、女性は 38,978 人増加している。性比(女性 100 人に対する男性の数)をみると、人口総数の性比は 97.6、日本人の性比は 97.9、外国人の性比は 88.5 で、すべて男性が女性より少なくなっている。前年に比べ人口総数と日本人の性比は 0.1 ポイント低下しているが、外国人の性比は 1.5 ポイント上昇している。

表 1 区市町村、日本人、外国人別人口（人口総数） 平成 26 年1月1日現在
(単位：人)

地 域	総 数	日本人	外国人	地 域	総 数	日本人	外国人
総 数	13,202,041	12,807,631	394,410				
区 部	9,016,342	8,685,756	330,586				
千代田区	54,160	51,703	2,457	福生市	58,821	56,288	2,533
中央区	132,610	127,694	4,916	狛江市	77,923	76,948	975
港区	235,337	217,233	18,104	東大和市	85,297	84,251	1,046
新宿区	324,082	289,961	34,121	清瀬市	74,216	73,223	993
文京区	204,258	197,171	7,087	東久留米市	116,417	114,783	1,634
台東区	187,792	174,990	12,802	武蔵村山市	72,169	71,069	1,100
墨田区	254,627	245,318	9,309	摩 摩 市	147,681	145,659	2,022
江東区	487,142	465,908	21,234	多 摩 市	86,169	85,087	1,082
品川区	368,761	358,315	10,446	羽 村 市	56,837	55,642	1,195
目黒区	267,379	260,397	6,982	あきる野市	81,912	81,286	626
大田区	701,416	682,871	18,545	西 東 京 市	197,546	194,419	3,127
世田谷区	867,552	852,707	14,845	町 村 部	86,294	85,427	867
渋谷区	214,665	205,785	8,880	郡 部	58,956	58,316	640
中野区	313,665	302,716	10,949	瑞穂町	33,904	33,377	527
杉並区	542,956	532,247	10,709	日の出町	16,932	16,855	77
豊島区	271,643	252,110	19,533	檜原村	2,461	2,448	13
北区	334,723	320,165	14,558	奥多摩町	5,659	5,636	23
荒川区	207,635	192,076	15,559	島 部	27,338	27,111	227
板橋区	540,040	523,326	16,714	大島支庁	13,515	13,457	58
練馬区	711,212	698,354	12,858	大島島村	8,305	8,256	49
足立区	670,385	647,869	22,516	大利島村	306	306	-
葛飾区	448,186	434,220	13,966	新島村	2,933	2,928	5
江戸川区	676,116	652,620	23,496	神津島村	1,971	1,967	4
市 部	4,099,405	4,036,448	62,957	三宅支庁	3,053	3,010	43
八王子市	563,482	554,462	9,020	三宅宅村	2,738	2,696	42
立川市	178,194	174,997	3,197	御蔵島村	315	314	1
武蔵野市	140,527	138,250	2,277	八丈支庁	8,186	8,081	105
三鷹市	180,194	177,400	2,794	八丈町	8,016	7,913	103
青梅市	137,833	136,412	1,421	青ヶ島村	170	168	2
府中市	253,288	249,178	4,110	小笠原支庁	2,584	2,563	21
昭島市	112,905	110,857	2,048	小笠原村	2,584	2,563	21
調布市	223,691	220,157	3,534				
町田市	426,222	421,442	4,780				
小金井市	117,001	115,002	1,999				
小平市	186,339	182,378	3,961				
日野市	179,571	177,122	2,449				
東村山市	152,088	150,000	2,088				
国分寺市	118,697	117,022	1,675				
国立市	74,385	73,114	1,271				

地域別にみると、区部は9,016,342人(うち日本人は8,685,756人、外国人は330,586人)、市部は4,099,405人(うち日本人は4,036,448人、外国人は62,957人)、町村部は86,294人(うち日本人は85,427人、外国人は867人)となっている。前年に比べ、区部は64,767人(0.72%)の増加、市部は7,208人(0.18%)の増加、町村部は696人(△0.80%)の減少となっている。

(表1、2-1~3、図1~3、統計表7)

表2-1 地域及び男女別人口総数 (平成25~26年) 各年1月1日現在

(単位:人、%)

地域 性比	平成26年			平成25年			増減数			増減率 (総数)
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総数	13,202,041	6,520,891	6,681,150	13,130,762	6,488,590	6,642,172	71,279	32,301	38,978	0.54
区部	9,016,342	4,443,965	4,572,377	8,951,575	4,412,745	4,538,830	64,767	31,220	33,547	0.72
市部	4,099,405	2,033,400	2,066,005	4,092,197	2,032,029	2,060,168	7,208	1,371	5,837	0.18
町村部	86,294	43,526	42,768	86,990	43,816	43,174	△696	△290	△406	△0.80
性比 (総数)	97.6			97.7			△0.1			-

表2-2 地域及び男女別日本人人口 (平成25~26年) 各年1月1日現在

(単位:人、%)

地域 性比	平成26年			平成25年			増減数			増減率 (総数)
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総数	12,807,631	6,335,735	6,471,896	12,740,088	6,306,859	6,433,229	67,543	28,876	38,667	0.53
区部	8,685,756	4,287,211	4,398,545	8,624,309	4,258,894	4,365,415	61,447	28,317	33,130	0.71
市部	4,036,448	2,005,330	2,031,118	4,029,607	2,004,436	2,025,171	6,841	894	5,947	0.17
町村部	85,427	43,194	42,233	86,172	43,529	42,643	△745	△335	△410	△0.86
性比 (総数)	97.9			98.0			△0.1			-

表2-3 地域及び男女別外国人人口 (平成25~26年) 各年1月1日現在

(単位:人、%)

地域 性比	平成26年			平成25年			増減数			増減率 (総数)
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
総数	394,410	185,156	209,254	390,674	181,731	208,943	3,736	3,425	311	0.96
区部	330,586	156,754	173,832	327,266	153,851	173,415	3,320	2,903	417	1.01
市部	62,957	28,070	34,887	62,590	27,593	34,997	367	477	△110	0.59
町村部	867	332	535	818	287	531	49	45	4	5.99
性比 (総数)	88.5			87.0			1.5			-

図1 区市町村別人口総数（平成26年）

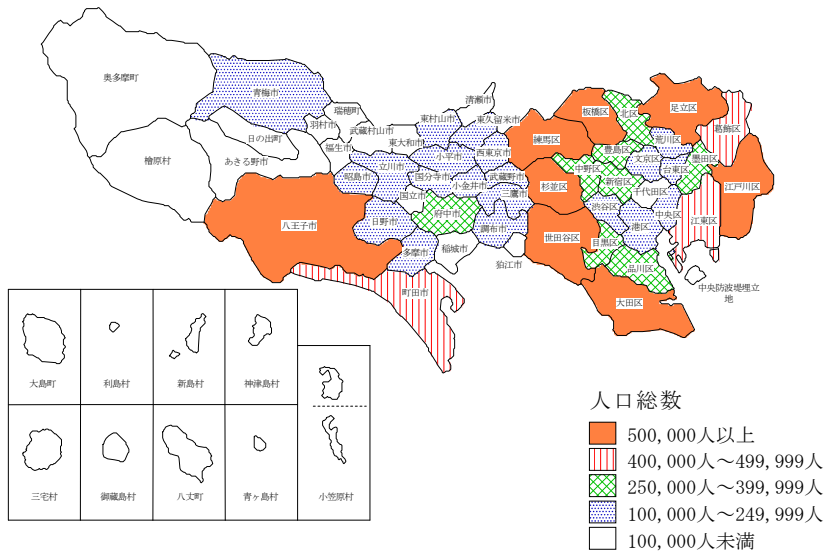


図2 区市町村別日本人人口（平成26年）

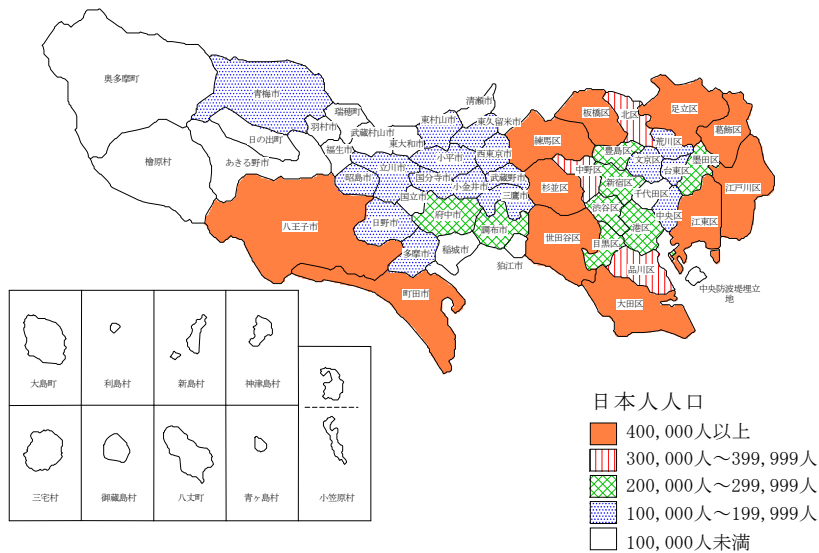
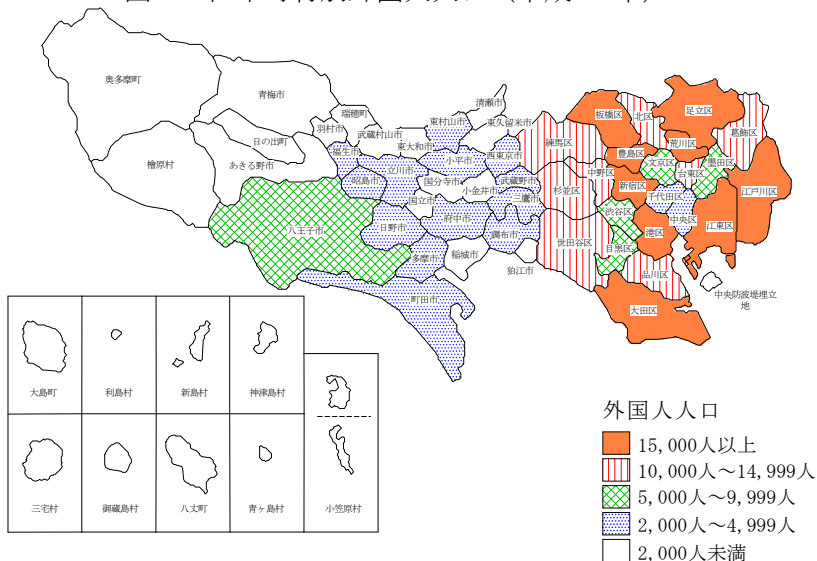


図3 区市町村別外国人人口（平成26年）



2 平均年齢

平成26年1月1日現在の東京都における日本人と外国人を合わせた人口総数の平均年齢は、44.27歳で、前年に比べ0.19歳高くなった。男女を比較すると、男性は42.95歳、女性45.57歳と女性の方が2.62歳高くなっている。

地域別にみると、町村部の48.42歳が最も高く、次いで市部44.41歳、区部44.18歳の順となっている。

さらに区市町村別にみると、檜原村、奥多摩町の57.79歳が最も高く、次いで三宅村53.94歳、となっている。一方、最も低いのは御蔵島村の39.87歳で、次いで小笠原村40.01歳、稲城市42.09歳となっている。

(表3、4)

表3 地域、男女別平均年齢（人口総数）－平成25～26年－ 各年1月1日現在

(単位：歳)

年次	地域	総数	男	女
平成26年	総数	44.27	42.95	45.57
	区部	44.18	42.85	45.46
	市部	44.41	43.09	45.70
	町村部	48.42	46.69	50.18
平成25年	総数	44.08	42.76	45.37
	区部	44.04	42.72	45.32
	市部	44.09	42.78	45.37
	町村部	48.12	46.42	49.86

注) 平均年齢の求め方は、各年齢の中央値（当年と翌年の中央値）ごとに人口を乗じた値を合計し、人口総数（年齢不詳を除く）で除す。

$$\text{平均年齢（歳）} = \Sigma (\text{年齢} \times \text{人口}) \div \text{人口総数} + 0.5$$

表4 区市町村、男女別平均年齢（人口総数） 平成26年1月1日現在

		平均年齢			平均年齢		
地 域	地 域	平均年齢			平均年齢		
		総 数	男	女	総 数	男	女
総 数		44.27	42.95	45.57			
区 部		44.18	42.85	45.46			
千代田区	福生市	43.05	41.42	44.67	45.19	43.74	46.65
中央区	狛江市	42.31	41.10	43.40	45.16	43.81	46.46
港区	東大和市	42.76	41.39	43.99	44.77	43.73	45.80
新宿区	清瀬市	43.81	42.33	45.29	45.99	44.57	47.32
文京区	東久留米市	43.60	41.96	45.10	45.84	44.55	47.07
台東区	武蔵村山市	46.11	45.06	47.20	43.71	42.64	44.78
墨田区	多摩市	45.07	43.78	46.35	45.32	44.09	46.51
江東区	稲城市	43.92	42.80	45.02	42.09	41.24	42.97
品川区	羽村市	44.23	42.84	45.57	43.93	42.72	45.18
目黒区	あきる野市	43.84	42.34	45.17	45.72	44.48	46.97
大田区	西東京市	44.59	43.32	45.86	44.55	43.12	45.92
世田谷区	町 村 部	43.59	42.16	44.89	48.42	46.69	50.18
渋谷区	郡 部	43.96	42.47	45.33	47.59	45.94	49.25
中谷区	瑞穂町	44.40	42.74	46.08	45.02	43.93	46.15
杉並区	日の出町	44.28	42.79	45.66	47.83	45.85	49.75
豊島区	檜原村	44.07	42.60	45.55	57.79	54.64	60.94
北区	奥多摩町	46.29	44.63	47.92	57.79	54.69	60.82
荒川区	島 部	44.84	43.60	46.07	50.22	48.29	52.23
板橋区	大島支庁	44.55	43.30	45.78	50.60	48.34	52.87
練馬区	大島町	43.70	42.40	44.96	50.83	48.18	53.54
	利島村	44.93	43.73	46.14	45.54	44.67	46.57
	新島村	45.24	43.88	46.60	52.57	50.48	54.52
	神津島村	42.63	41.70	43.59	47.45	46.59	48.34
市 部		44.41	43.09	45.70			
八王子市	三宅支庁	44.57	43.25	45.89	52.48	50.21	55.15
立川市	三宅村	44.21	42.94	45.48	53.94	51.48	56.81
武蔵野市	御蔵島村	44.36	42.71	45.89	39.87	39.23	40.63
三鷹市	八丈支庁	43.71	42.39	45.00	51.98	50.12	53.81
青梅市	八丈町	46.06	44.65	47.48	52.16	50.22	54.06
	青ヶ島村	42.94	41.72	44.19	43.38	46.12	39.65
府中市	小笠原支庁	44.83	43.59	46.08	40.01	40.78	39.03
昭島市	小笠原村	43.50	42.18	44.77	40.01	40.78	39.03
調布市		44.82	43.54	46.06			
町田市		44.82	43.54	46.06			
小金井市		43.46	42.10	44.79			
小平市		43.74	42.43	45.03			
日野市		44.24	42.87	45.63			
東村山市		45.22	43.81	46.58			
分寺市		43.78	42.37	45.17			
国立市		44.34	42.82	45.82			

注) 平均年齢の求め方は、各年齢の中央値（当年と翌年の中央値）ごとに人口を乗じた値を合計し、人口総数（年齢不詳を除く）で除す。
 平均年齢（歳） = Σ （年齢×人口）÷人口総数+0.5

3 年齢別人口

平成26年1月1日現在の東京都における日本人と外国人を合わせた人口総数、日本人及び外国人について、年齢構造を視覚的に表す人口ピラミッドで見ると、人口総数では、40～44歳が1,171,375人で最も多くなっている。日本人では、40～44歳が1,131,699人で最も多く、第2次ベビーブーム世代を中心とした年齢階級が多くなっている。外国人では、25～29歳が58,448人で最も多くなっている。

(表5、図4～6、統計表7)

表5 日本人、外国人及び年齢(5歳階級)別人口 平成26年1月1日現在

(単位：人、%)

年齢階級	総数	日本人	外国人	構成比		
				総数	日本人	外国人
総数	13,202,041	12,807,631	394,410	100.00	100.00	100.00
0～4	536,572	523,238	13,334	4.06	4.09	3.38
5～9	504,173	493,505	10,668	3.82	3.85	2.70
10～14	508,966	499,687	9,279	3.86	3.90	2.35
15～19	532,198	516,958	15,240	4.03	4.04	3.86
20～24	701,160	652,241	48,919	5.31	5.09	12.40
25～29	925,856	867,408	58,448	7.01	6.77	14.82
30～34	1,021,414	967,049	54,365	7.74	7.55	13.78
35～39	1,106,241	1,063,346	42,895	8.38	8.30	10.88
40～44	1,171,375	1,131,699	39,676	8.87	8.84	10.06
45～49	1,015,525	982,928	32,597	7.69	7.67	8.26
50～54	820,084	795,717	24,367	6.21	6.21	6.18
55～59	703,479	687,382	16,097	5.33	5.37	4.08
60～64	810,029	799,855	10,174	6.14	6.25	2.58
65～69	787,103	780,524	6,579	5.96	6.09	1.67
70～74	706,050	701,584	4,466	5.35	5.48	1.13
75～79	570,385	567,233	3,152	4.32	4.43	0.80
80～84	413,314	411,262	2,052	3.13	3.21	0.52
85～89	238,470	237,118	1,352	1.81	1.85	0.34
90歳～	129,647	128,897	750	0.98	1.01	0.19

注) 構成比(%) = 各年齢別人口 ÷ 各人口総数 × 100

図4 東京都の人口総数における人口ピラミッド
(平成 26 年)

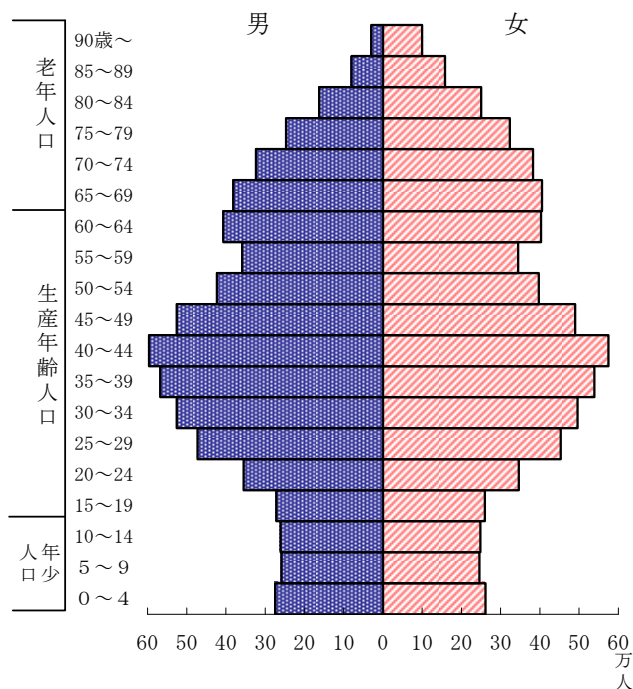


図5 東京都の日本人における人口ピラミッド
(平成 26 年)

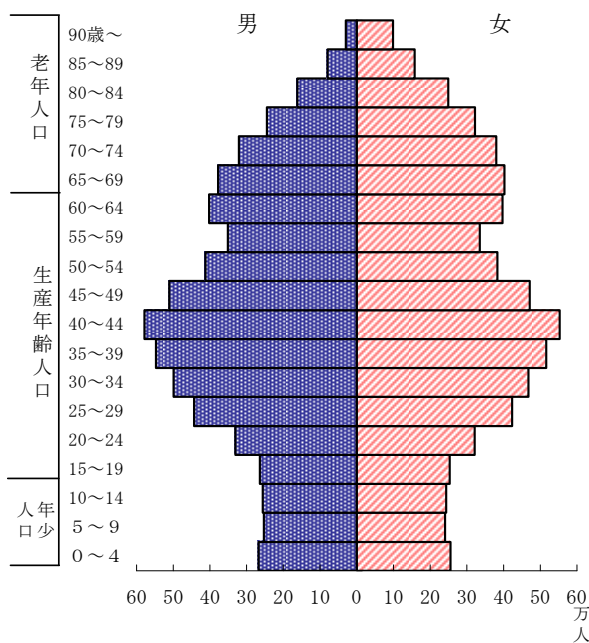
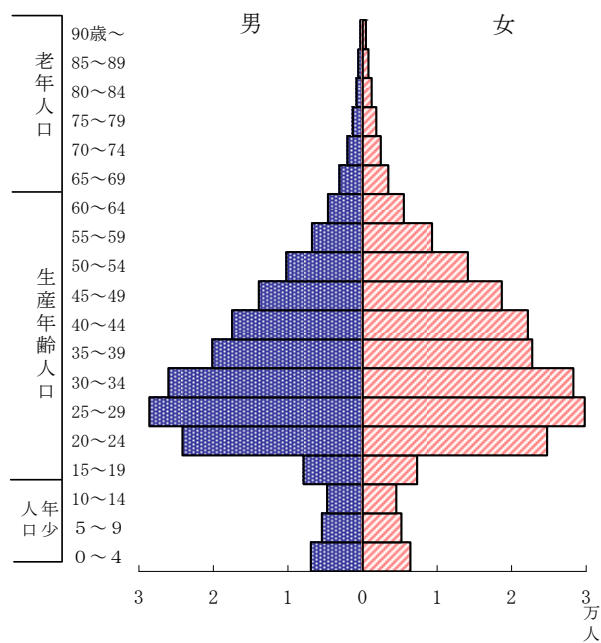


図6 東京都の外国人における人口ピラミッド
(平成 26 年)



4 年齢3区分別人口

(1) 年少人口(0～14歳)

平成26年1月1日現在の東京都における日本人と外国人を合わせた人口総数、日本人及び外国人について、年少人口(0～14歳)をみると、合計が1,549,711人で、前年に比べ6,874人の増加となっている。そのうち日本人は1,516,430人で、前年に比べ7,002人増加、外国人は33,281人で、前年に比べ128人減少している。

人口総数に占める年少人口の割合は11.74%となっており、そのうち日本人の年少人口が人口総数に占める割合は11.49%、外国人の年少人口が人口総数に占める割合は0.25%となっている。

地域別にみると、区部の年少人口は1,012,781人、市部は526,446人、町村部は10,484人で、前年に比べ区部は9,227人増加しているが、市部は2,263人、町村部は90人それぞれ減少している。

(表6-1～2、図7、統計表3-1～3)

(2) 生産年齢人口(15～64歳)

平成26年1月1日現在の東京都における日本人と外国人を合わせた人口総数、日本人及び外国人について、生産年齢人口(15～64歳)をみると、合計が8,807,361人で、前年に比べ29,080人の減少となっている。そのうち日本人は8,464,583人で、前年に比べ32,320人減少、外国人は342,778人で、前年に比べ3,240人増加している。

人口総数に占める生産年齢人口の割合は66.71%となっており、そのうち日本人の生産年齢人口が人口総数に占める割合は64.12%、外国人の生産年齢人口が人口総数に占める割合は2.60%となっている。

地域別にみると、区部の生産年齢人口は6,107,570人、市部は2,649,597人、町村部は50,194人で、前年に比べ区部、市部、町村部の全ての地域で減少している。

(表6-1～2、図8、統計表3-1～3)

(3) 老年人口(65歳以上)

平成26年1月1日現在の東京都における日本人と外国人を合わせた人口総数、日本人及び外国人について、老年人口(65歳以上)をみると、合計が2,844,969人で、前年に比べ93,485人の増加となっている。そのうち日本人は2,826,618人で、前年に比べ92,861人の増加、外国人は18,351人で前年に比べ624人の増加となっている。

人口総数に占める老年人口の割合は21.55%となっており、そのうち日本人の老年人口が人口総数に占める割合は21.41%、外国人の老年人口が人口総数に占める割合は0.14%となっている。

(表6-1～2、図9、統計表3-1～3)

表6-1 地域、日本人、外国人の年齢3区分別人口及び構成比 平成26年1月1日現在

(単位：人、%)

地 域		人口総数				日 本 人			外 国 人		
		計	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
人 口	総 数	13,202,041	1,549,711	8,807,361	2,844,969	1,516,430	8,464,583	2,826,618	33,281	342,778	18,351
	区 部	9,016,342	1,012,781	6,107,570	1,895,991	984,568	5,820,088	1,881,100	28,213	287,482	14,891
	市 部	4,099,405	526,446	2,649,597	923,362	521,450	2,595,038	919,960	4,996	54,559	3,402
	町 村 部	86,294	10,484	50,194	25,616	10,412	49,457	25,558	72	737	58
	郡 部	58,956	7,209	34,862	16,885	7,144	34,331	16,841	65	531	44
	島 部	27,338	3,275	15,332	8,731	3,268	15,126	8,717	7	206	14
構 成 比	総 数	100.00	11.74	66.71	21.55	11.49	64.12	21.41	0.25	2.60	0.14
	区 部	68.30	7.67	46.26	14.36	7.46	44.08	14.25	0.21	2.18	0.11
	市 部	31.05	3.99	20.07	6.99	3.95	19.66	6.97	0.04	0.41	0.03
	町 村 部	0.65	0.08	0.38	0.19	0.08	0.37	0.19	0.00	0.01	0.00
	郡 部	0.45	0.05	0.26	0.13	0.05	0.26	0.13	0.00	0.00	0.00
	島 部	0.21	0.02	0.12	0.07	0.02	0.11	0.07	0.00	0.00	0.00

注) 構成比(%) = 各区分別人口 ÷ 人口総数 × 100

表6-2 地域、日本人、外国人の年齢3区分別人口及び増減数 (平成25~26年) 各年1月1日現在

(単位：人)

地 域		平成26年			平成25年			増減数		
		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
人 口 総 数	総 数	1,549,711	8,807,361	2,844,969	1,542,837	8,836,441	2,751,484	6,874	△ 29,080	93,485
	区 部	1,012,781	6,107,570	1,895,991	1,003,554	6,109,484	1,838,537	9,227	△ 1,914	57,454
	市 部	526,446	2,649,597	923,362	528,709	2,675,286	888,202	△ 2,263	△ 25,689	35,160
	町 村 部	10,484	50,194	25,616	10,574	51,671	24,745	△ 90	△ 1,477	871
日 本 人	総 数	1,516,430	8,464,583	2,826,618	1,509,428	8,496,903	2,733,757	7,002	△ 32,320	92,861
	区 部	984,568	5,820,088	1,881,100	975,164	5,825,028	1,824,117	9,404	△ 4,940	56,983
	市 部	521,450	2,595,038	919,960	523,755	2,620,912	884,940	△ 2,305	△ 25,874	35,020
	町 村 部	10,412	49,457	25,558	10,509	50,963	24,700	△ 97	△ 1,506	858
外 国 人	総 数	33,281	342,778	18,351	33,409	339,538	17,727	△ 128	3,240	624
	区 部	28,213	287,482	14,891	28,390	284,456	14,420	△ 177	3,026	471
	市 部	4,996	54,559	3,402	4,954	54,374	3,262	42	185	140
	町 村 部	72	737	58	65	708	45	7	29	13

図7 区市町村別人口総数における年少人口割合(平成 26 年)

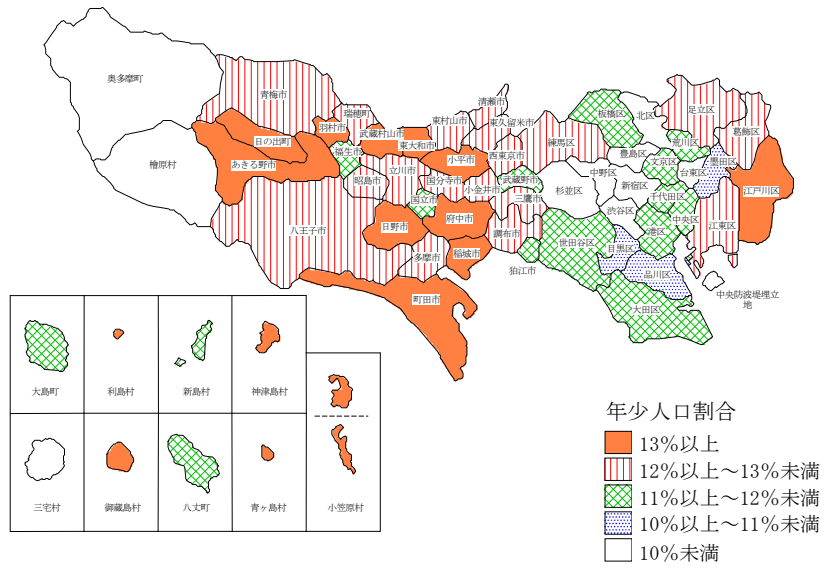


図8 区市町村別人口総数における生産年齢人口割合(平成 26 年)

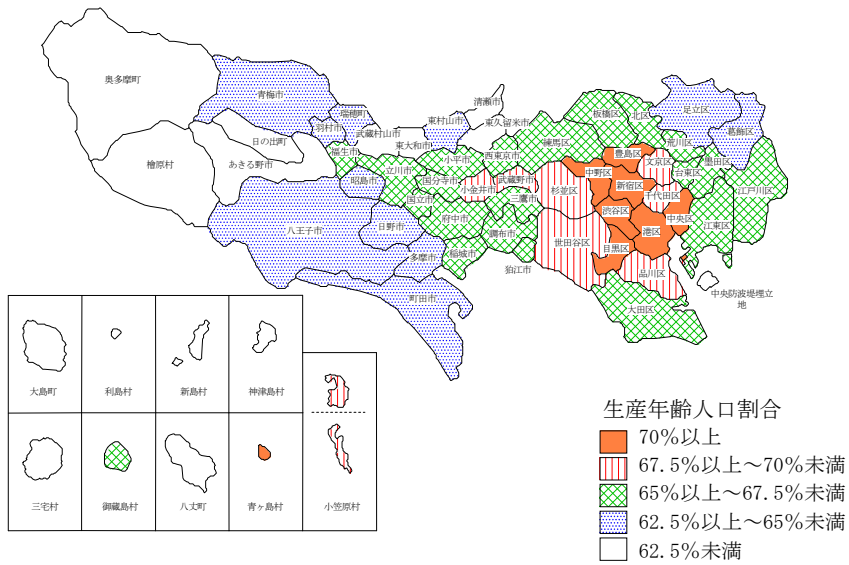
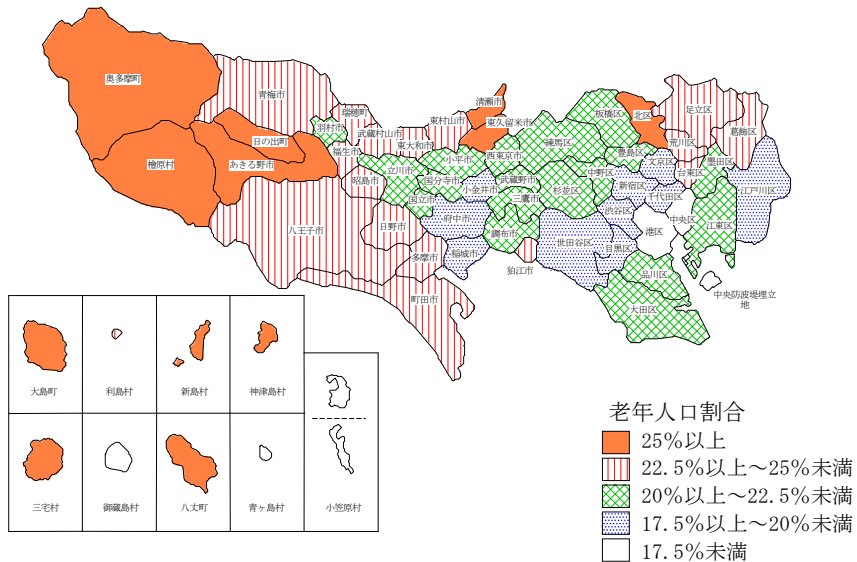


図9 区市町村別人口総数における老年人口割合(平成 26 年)



(4) 全国との比較

日本人と外国人を合わせた人口について、平成 26 年1月1日現在の東京都と、平成 25 年3月 31 日現在の全国の人口総数を比較すると、東京都は 13,202,041 人、全国は 128,373,879 人で、東京都の人口総数が全国の人口総数に占める割合は 10.28%となっている。

人口総数の年齢3区分別構成比をみると、東京都の年少人口は 11.74%で全国より 1.33 ポイント低く、生産年齢人口は 66.71%で全国より 3.90 ポイント高く、老年人口は 21.55%で全国より 2.57 ポイント低くなっている。

日本人は、東京都が 12,807,631 人、全国が 126,393,679 人で、全国の日本人に占める東京都の割合は 10.13%となっている。

また、外国人は、東京都が 394,410 人、全国が 1,980,200 人で、全国の外国人に占める東京都の割合は 19.92%となっている。

年齢3区分別構成比については、日本人、外国人ともに、年少人口及び老年人口は全国より低く、生産年齢人口は全国より高くなっている。 (表7)

表7 年齢3区分別人口(人口総数)

(単位：人、%)

区 分	東京都 *1		全国 *2		全国に占める 東京都の割合
	人口	構成比	人口	構成比	
人口総数	13,202,041	100.00	128,373,879	100.00	10.28
年少人口	1,549,711	11.74	16,778,976	13.07	9.24
生産年齢人口	8,807,361	66.71	80,626,569	62.81	10.92
老年人口	2,844,969	21.55	30,968,259	24.12	9.19
日本人人口	12,807,631	100.00	126,393,679	100.00	10.13
年少人口	1,516,430	11.84	16,601,643	13.13	9.13
生産年齢人口	8,464,583	66.09	78,957,764	62.47	10.72
老年人口	2,826,618	22.07	30,834,268	24.40	9.17
外国人人口	394,410	100.00	1,980,200	100.00	19.92
年少人口	33,281	8.44	177,333	8.96	18.77
生産年齢人口	342,778	86.91	1,668,805	84.27	20.54
老年人口	18,351	4.65	133,991	6.77	13.70

*1:本調査(平成 26 年 1 月 1 日現在)

*2:総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧」(平成 25 年 3 月 31 日現在)

全国人口の年齢別数値は国勢調査の結果数値(毎5年周期の10月1日)または各年3月31日の数値しか公表されていないため、直近の数値として、総務省自治行政局「住民基本台帳人口要覧」(平成 25 年 3 月 31 日現在)の数値を使用した。総数には年齢不詳を含む。

5 世帯数

平成 26 年1月1日現在の東京都における日本人と外国人を合わせた総世帯数は 6,699,669 世帯で、前年に比べ 65,992 世帯の増加となっている。そのうち、日本人のみの世帯は 6,409,857 世帯で総世帯数の 95.67%、外国人のみの世帯は 207,239 世帯で総世帯数の 3.09%、日本人と外国人の複数国籍世帯は 82,573 世帯で総世帯数の 1.23%となっている。

また、東京都における一世帯当たり人員は 1.97 人となっており、区部は 1.89 人、市部は 2.16 人、町村部は 2.13 人となっている。一世帯当たりの人員の最も多い地域はあきる野市の 2.41 人、次いで武蔵村山市の 2.40 人、瑞穂町の 2.39 人となっている。最も少ない地域は青ヶ島村、三宅村の 1.56 人、次いで新宿区の 1.61 人となっている。(表8～9、図 10)

表8 世帯の内訳(日本人、外国人、複数国籍世帯) -平成 25～26 年- 各年1月1日現在

区 分	平成26年		平成25年		対前年増減	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	実数	率
総世帯数	6,699,669	100.00	6,633,677	100.00	65,992	0.99
日本人のみの世帯	6,409,857	95.67	6,346,818	95.68	63,039	0.99
外国人のみの世帯	207,239	3.09	206,314	3.11	925	0.45
日本人と外国人の 複数国籍世帯	82,573	1.23	80,545	1.21	2,028	2.52

図 10 区市町村別一世帯当たり人員(平成 26 年)

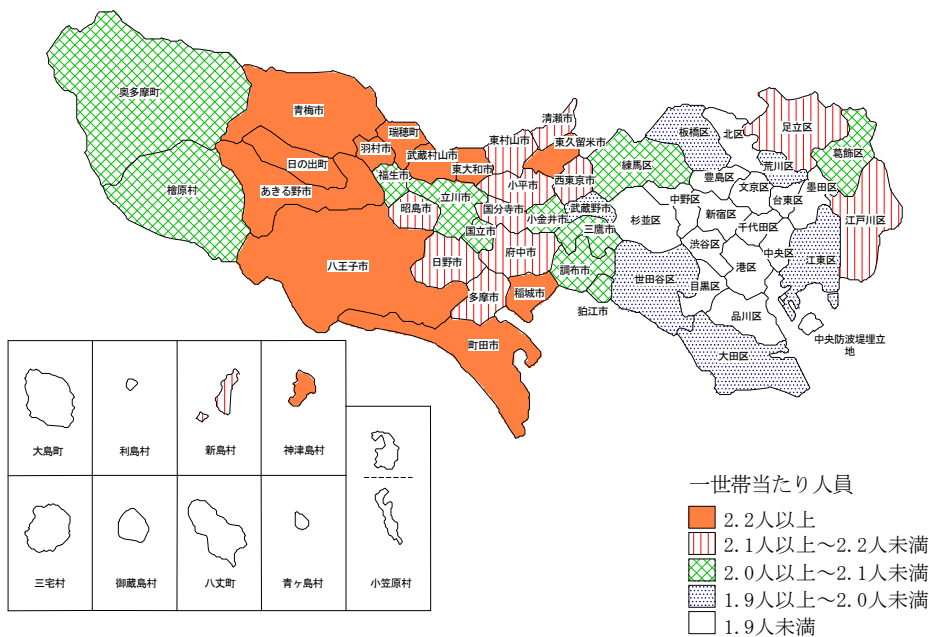


表9 区市町村別一世帯当たり人員 平成26年1月1日現在

(単位：人)

地 域	一世帯当 たり人員	地 域	一世帯当 たり人員
総 数	1.97		
区 部	1.89		
千代田区	1.78	福生市	2.02
中央区	1.73	狛江市	2.00
港区	1.75	東大和市	2.30
新宿区	1.61	清瀬市	2.19
文京区	1.84	東久留米市	2.24
台東区	1.74	武蔵村山市	2.40
墨田区	1.87	多摩市	2.17
江東区	1.99	稲城市	2.34
品川区	1.82	羽村市	2.27
目黒区	1.80	あきる野市	2.41
大田区	1.92	西東京市	2.15
世田谷区	1.92		
渋谷区	1.66	町 村 部	2.13
中野区	1.67		
杉並区	1.80	郡 部	2.33
豊島区	1.66	瑞穂町	2.39
北区	1.86	日の出町	2.36
荒川区	1.94	檜原村	2.06
板橋区	1.91	奥多摩町	2.04
練馬区	2.05		
		島 部	1.80
足立区	2.10	大島支庁	1.88
葛飾区	2.08	大島町	1.73
江戸川区	2.12	利島村	1.81
		新島村	2.13
市 部	2.16	神津島村	2.27
八王子市	2.20		
立川市	2.09	三宅支庁	1.59
武蔵野市	1.92	三宅村	1.56
三鷹市	2.02	御蔵島村	1.82
青梅市	2.27		
府中市	2.14	八丈支庁	1.78
昭島市	2.19	八丈町	1.78
調布市	2.02	青ヶ島村	1.56
町田市	2.28		
小金井市	2.06	小笠原支庁	1.77
		小笠原村	1.77
小平市	2.17		
日野市	2.17		
東村山市	2.17		
国分寺市	2.11		
国立市	2.09		

Ⅱ 日本人人口

1 人口及び増減率

平成26年1月1日現在における東京都の住民基本台帳による日本人人口は12,807,631人で、前年に比べ67,543人(0.53%)の増加となり、平成9年以降18年連続の人口増加となった。

地域別にみると、区部は8,685,756人で、前年に比べ61,447人(0.71%)増加、市部は4,036,448人で、6,841人(0.17%)増加、町村部は85,427人で745人(△0.86%)減少した。

(表10～11、図11、統計表2、6)

図11 日本人人口及び増減率の推移（昭和32～平成26年） 各年1月1日現在

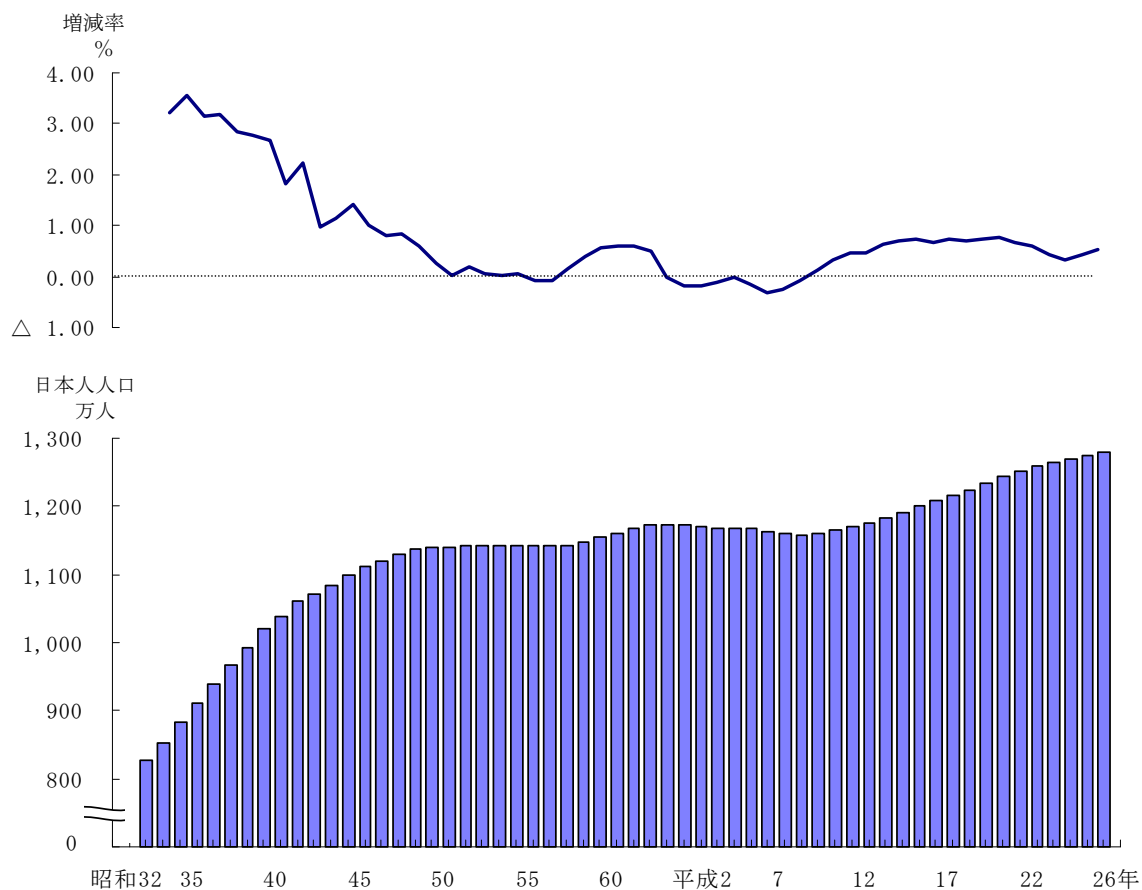


表 10 男女別日本人人口の推移（平成 16～26 年）各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	総数			男			女		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成16年	12,074,598	78,387	0.65	6,008,358	34,448	0.58	6,066,240	43,939	0.73
17	12,161,029	86,431	0.72	6,047,173	38,815	0.65	6,113,856	47,616	0.78
18	12,247,024	85,995	0.71	6,087,228	40,055	0.66	6,159,796	45,940	0.75
19	12,339,259	92,235	0.75	6,130,991	43,763	0.72	6,208,268	48,472	0.79
20	12,433,235	93,976	0.76	6,175,811	44,820	0.73	6,257,424	49,156	0.79
21	12,517,299	84,064	0.68	6,216,067	40,256	0.65	6,301,232	43,808	0.70
22	12,591,643	74,344	0.59	6,249,973	33,906	0.55	6,341,670	40,438	0.64
23	12,646,745	55,102	0.44	6,269,830	19,857	0.32	6,376,915	35,245	0.56
24	12,686,067	39,322	0.31	6,283,796	13,966	0.22	6,402,271	25,356	0.40
25	12,740,088	54,021	0.43	6,306,859	23,063	0.37	6,433,229	30,958	0.48
26	12,807,631	67,543	0.53	6,335,735	28,876	0.46	6,471,896	38,667	0.60

表 11 地域別日本人人口の推移（平成 16～26 年）各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	区部			市部			町村部		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成16年	8,129,801	47,842	0.59	3,854,036	31,337	0.82	90,761	△ 792	△ 0.87
17	8,183,907	54,106	0.67	3,887,161	33,125	0.86	89,961	△ 800	△ 0.88
18	8,247,810	63,903	0.78	3,910,232	23,071	0.59	88,982	△ 979	△ 1.09
19	8,318,841	71,031	0.86	3,931,755	21,523	0.55	88,663	△ 319	△ 0.36
20	8,387,659	68,818	0.83	3,957,693	25,938	0.66	87,883	△ 780	△ 0.88
21	8,451,067	63,408	0.76	3,978,689	20,996	0.53	87,543	△ 340	△ 0.39
22	8,502,527	51,460	0.61	4,001,781	23,092	0.58	87,335	△ 208	△ 0.24
23	8,541,979	39,452	0.46	4,017,752	15,971	0.40	87,014	△ 321	△ 0.37
24	8,575,228	33,249	0.39	4,024,146	6,394	0.16	86,693	△ 321	△ 0.37
25	8,624,309	49,081	0.57	4,029,607	5,461	0.14	86,172	△ 521	△ 0.60
26	8,685,756	61,447	0.71	4,036,448	6,841	0.17	85,427	△ 745	△ 0.86

2 平均年齢

平成 26 年1月1日現在の東京都の日本人の平均年齢は 44.52 歳と、前年に比べ 0.19 歳高くなった。男女を比較すると、男性 43.17 歳、女性 45.84 歳と女性の方が 2.67 歳高くなっている。

地域別にみると、町村部の 48.48 歳が最も高く、次いで市部 44.51 歳、区部 44.49 歳の順となっている。

また、20 年前の平成6年からの推移をみると、すべての地域で男女共に平均年齢が上昇しており、20 年間で男性は 5.50 歳、女性は 5.59 歳上昇した。(表 12)

表 12 地域、日本人男女別平均年齢の推移（平成6、16、21～26年） 各年1月1日現在

(単位：歳)

地域・男女		平成6年	16年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
総数	総数	38.96	42.22	43.42	43.65	43.88	44.12	44.33	44.52
	区部	39.65	42.63	43.61	43.81	44.00	44.20	44.36	44.49
	市部	37.39	41.28	42.93	43.24	43.54	43.88	44.20	44.51
	町村部	40.25	45.13	47.17	47.44	47.68	47.91	48.19	48.48
	郡部	39.11	43.95	46.10	46.39	46.71	47.02	47.39	47.67
	島部	43.17	47.50	49.39	49.63	49.73	49.80	49.89	50.23
男	総数	37.67	40.87	42.06	42.30	42.53	42.77	42.98	43.17
	区部	38.30	41.24	42.23	42.43	42.63	42.84	43.00	43.13
	市部	36.28	40.03	41.64	41.94	42.23	42.56	42.87	43.18
	町村部	38.88	43.49	45.49	45.76	45.99	46.21	46.46	46.75
	郡部	37.84	42.35	44.46	44.78	45.06	45.38	45.72	46.02
	島部	41.60	45.80	47.62	47.78	47.92	47.93	48.01	48.29
女	総数	40.25	43.56	44.75	44.98	45.21	45.45	45.66	45.84
	区部	40.99	44.00	44.96	45.15	45.34	45.54	45.69	45.81
	市部	38.55	42.55	44.22	44.53	44.84	45.18	45.51	45.82
	町村部	41.64	46.79	48.88	49.16	49.42	49.65	49.95	50.25
	郡部	40.42	45.57	47.76	48.03	48.39	48.68	49.08	49.34
	島部	44.77	49.22	51.23	51.54	51.61	51.75	51.84	52.26

注) 平均年齢の求め方は、各年齢の中央値（当年と翌年の中央値）ごとに人口を乗じた値を合計し、人口総数（年齢不詳を除く）で除す。

$$\text{平均年齢(歳)} = \frac{\sum (\text{年齢} \times \text{人口})}{\text{人口総数}} + 0.5$$

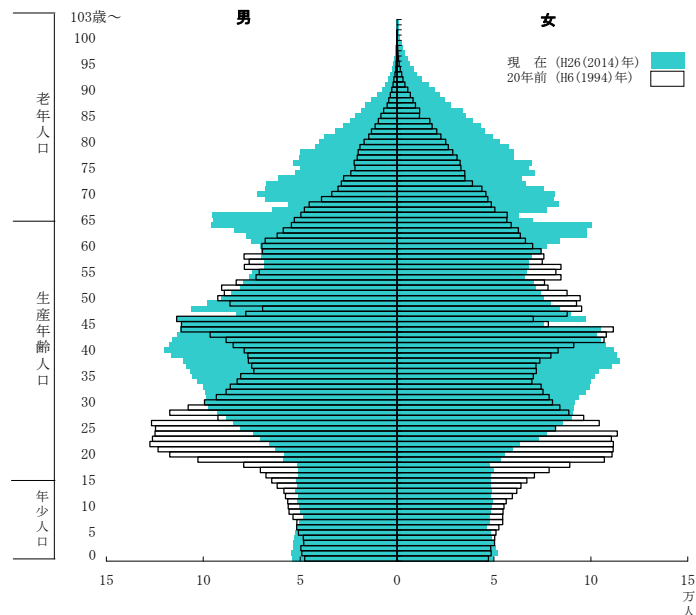
3 年齢別人口

(1) 年齢別人口構成

平成26年1月1日現在の東京都の日本人人口について、年齢構造を視覚的に表す人口ピラミッドで、20年前の平成6年と比べると、20代の人口は男女ともに大きく減少している。一方、第1次ベビーブーム世代が高齢層に入るに伴い、60歳以上の人口は大幅に増加している。

(図12、統計表6)

図12 東京都の人口の年齢構造(日本人) (平成6、26年)



4 年齢3区分別人口

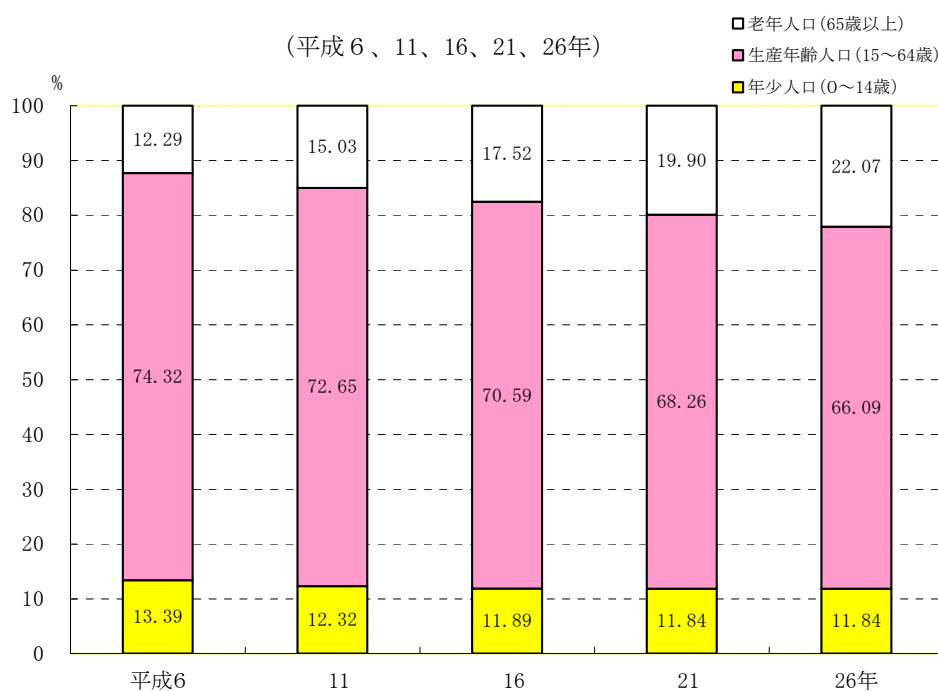
(1) 年齢3区分別人口の推移

東京都の日本人人口を年齢3区分別にみると、平成 26 年の年少人口(0～14 歳)は 1,516,430 人で、前年に比べ 7,002 人(0.46%)増加した。日本人人口に占める割合は 11.84%で、前年に比べ 0.01 ポイント低下した。また、10 年前の平成 16 年と比べて 0.05 ポイント低下した。

生産年齢人口(15～64 歳)は 8,464,583 人で、前年に比べ 32,320 人(△0.38%)減少した。日本人人口に占める割合は 66.09%で、前年に比べ 0.6 ポイント低下した。また、10 年前の平成 16 年と比べて 4.50 ポイント低下した。

老年人口(65 歳以上)は 2,826,618 人で、前年に比べ 92,861 人(3.40%)増加した。日本人人口に占める割合は 22.07%で、昭和 32 年の調査開始以来過去最高を更新した。10 年前の平成 16 年と比べ 4.55 ポイント上昇した。

図 13 日本人の年齢3区分別構成比の推移



老年人口のうち、70 歳以上の人口は 2,046,094 人で、前年に比べ 65,346 人(3.30%)増加し、日本人人口に占める割合は 15.98%となった。75 歳以上の人口は 1,344,510 人で、前年に比べ 34,972 人(2.67%)増加し、日本人人口に占める割合は 10.50%となった。さらに、80 歳以上の人口は 777,277 人で、前年に比べ 36,269 人(4.89%)増加し、日本人人口に占める割合は 6.07%となった。

最も増加しているのは 80 歳以上の人口で、10 年前と比べ 1.7 倍となっている。

(表 13-1～2、図 13)

表 13-1 年齢3区分別日本人人口の推移（平成 16～26 年）各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	年少人口（0～14歳）			生産年齢人口（15～64歳）			老年人口（65歳以上）		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成16年	1,435,292	2,783	0.19	8,523,570	16,466	0.19	2,115,728	59,139	2.88
17	1,445,820	10,528	0.73	8,539,039	15,469	0.18	2,176,162	60,434	2.86
18	1,451,916	6,096	0.42	8,545,819	6,780	0.08	2,249,279	73,117	3.36
19	1,461,387	9,471	0.65	8,545,560	△259	△0.00	2,332,305	83,026	3.69
20	1,471,628	10,241	0.70	8,551,505	5,945	0.07	2,410,095	77,790	3.34
21	1,482,232	10,604	0.72	8,544,292	△7,213	△0.08	2,490,769	80,674	3.35
22	1,489,947	7,715	0.52	8,543,980	△312	△0.00	2,557,714	66,945	2.69
23	1,501,531	11,584	0.78	8,555,896	11,916	0.14	2,589,316	31,602	1.24
24	1,504,180	2,649	0.18	8,548,560	△7,336	△0.09	2,633,325	44,009	1.70
25	1,509,428	5,248	0.35	8,496,903	△51,657	△0.60	2,733,757	100,432	3.81
26	1,516,430	7,002	0.46	8,464,583	△32,320	△0.38	2,826,618	92,861	3.40

年次	(再掲) 老年人口のうち70歳以上			(再掲) 老年人口のうち75歳以上			(再掲) 老年人口のうち80歳以上		
	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
平成16年	1,432,319	63,173	4.61	871,842	42,829	5.17	464,082	21,678	4.90
17	1,491,554	59,235	4.14	914,392	42,550	4.88	489,078	24,996	5.39
18	1,561,921	70,367	4.72	957,123	42,731	4.67	518,752	29,674	6.07
19	1,625,039	63,118	4.04	1,002,807	45,684	4.77	547,551	28,799	5.55
20	1,689,269	64,230	3.95	1,053,950	51,143	5.10	576,901	29,350	5.36
21	1,737,288	48,019	2.84	1,104,681	50,731	4.81	608,616	31,715	5.50
22	1,787,097	49,809	2.87	1,152,293	47,612	4.31	639,980	31,364	5.15
23	1,848,047	60,950	3.41	1,209,811	57,518	4.99	671,062	31,082	4.86
24	1,918,138	70,091	3.79	1,260,591	50,780	4.20	704,829	33,767	5.03
25	1,980,748	62,610	3.26	1,309,538	48,947	3.88	741,008	36,179	5.13
26	2,046,094	65,346	3.30	1,344,510	34,972	2.67	777,277	36,269	4.89

表 13-2 年齢3区分別日本人人口及び構成比の推移（平成 16～26 年）各年1月1日現在

(単位：人、%)

年次	年少人口（0～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳以上）		(再掲) 老年人口のうち70歳以上		(再掲) 老年人口のうち75歳以上		(再掲) 老年人口のうち80歳以上	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
平成16年	1,435,292	11.89	8,523,570	70.59	2,115,728	17.52	1,432,319	11.86	871,842	7.22	464,082	3.84
17	1,445,820	11.89	8,539,039	70.22	2,176,162	17.89	1,491,554	12.27	914,392	7.52	489,078	4.02
18	1,451,916	11.86	8,545,819	69.78	2,249,279	18.37	1,561,921	12.75	957,123	7.82	518,752	4.24
19	1,461,387	11.84	8,545,560	69.26	2,332,305	18.90	1,625,039	13.17	1,002,807	8.13	547,551	4.44
20	1,471,628	11.84	8,551,505	68.78	2,410,095	19.38	1,689,269	13.59	1,053,950	8.48	576,901	4.64
21	1,482,232	11.84	8,544,292	68.26	2,490,769	19.90	1,737,288	13.88	1,104,681	8.83	608,616	4.86
22	1,489,947	11.83	8,543,980	67.85	2,557,714	20.31	1,787,097	14.19	1,152,293	9.15	639,980	5.08
23	1,501,531	11.87	8,555,896	67.65	2,589,316	20.47	1,848,047	14.61	1,209,811	9.57	671,062	5.31
24	1,504,180	11.86	8,548,560	67.39	2,633,325	20.76	1,918,138	15.12	1,260,591	9.94	704,829	5.56
25	1,509,428	11.85	8,496,903	66.69	2,733,757	21.46	1,980,748	15.55	1,309,538	10.28	741,008	5.82
26	1,516,430	11.84	8,464,583	66.09	2,826,618	22.07	2,046,094	15.98	1,344,510	10.50	777,277	6.07

注) 構成比 (%) = 各区分別人口 ÷ 人口総数 × 100

5 年齢構造指数

平成 26 年1月1日現在の年少人口指数は 17.9 で、前年に比べ 0.1 ポイント上昇し、老年人口指数は 33.4 で、前年に比べ 1.2 ポイント上昇した。年少人口指数と老年人口指数との差は 15.5 ポイントと前年よりもさらに拡大している。

従属人口指数は 51.3 で前年より 1.4 ポイント上昇した。生産年齢人口を働き手とみると、被扶養層1人に対し働き手 1.9 人で支えていることになる。20 年前(平成6年)をみると、従属人口指数は 34.6 で、被扶養層1人に対し働き手は 2.9 人となっており、この 20 年間で働き手が約3人から約2人へ減少したことになる。

また、老年化指数は 186.4 となり、20 年前の平成6年と比べ2倍以上上昇し、さらに高齢化が進展している。
(表 14、図 14-1～2)

表 14 日本人の年齢構造指数の推移 (平成6、11、16、21～26 年) 各年1月1日現在

年齢構造指数	平成6	11	16	21	22	23	24	25	26年
年少人口指数	18.0	17.0	16.8	17.3	17.4	17.5	17.6	17.8	17.9
老年人口指数	16.5	20.7	24.8	29.2	29.9	30.3	30.8	32.2	33.4
従属人口指数	34.6	37.6	41.7	46.5	47.4	47.8	48.4	49.9	51.3
老年化指数	91.7	122.0	147.4	168.0	171.7	172.4	175.1	181.1	186.4

注) 年齢構造指数とは、次の指数の総称である。

年少人口指数 = 年少人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

老年人口指数 = 老年人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

従属人口指数 = (年少人口 + 老年人口) ÷ 生産年齢人口 × 100

老年化指数 = 老年人口 ÷ 年少人口 × 100

※従属人口指数でいうところの働き手とは生産年齢人口のことをいい、被扶養層とは年少人口 + 老年人口のことをいう。

被扶養層1人に対する働き手の人数 = 生産年齢人口 ÷ (年少人口 + 老年人口) = 100 ÷ 従属人口指数

図 14-1 日本人の年齢構造指数の推移（昭和 32～平成 26 年）

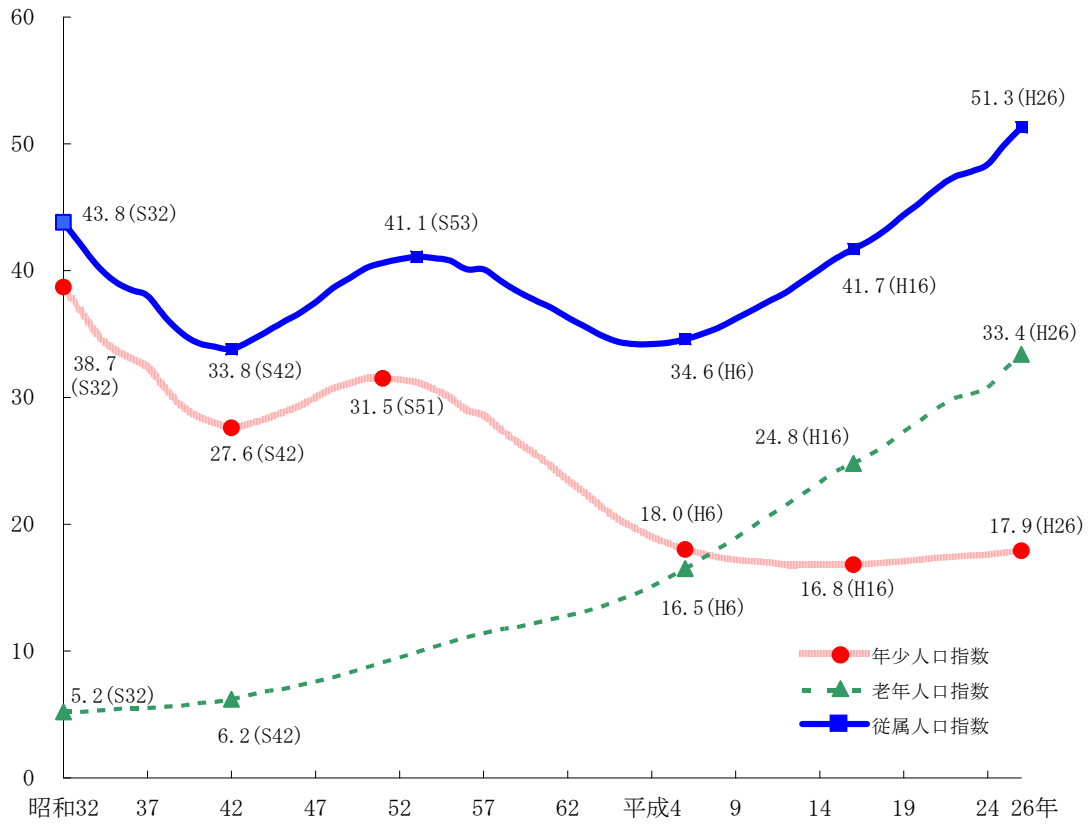


図 14-2 日本人の老年化指数の推移（昭和 32～平成 26 年）

